

令和4年度北本市立北小学校 自己評価及び学校運営協議会評価書(まとめ)

評価項目	No.	観 点	自己評価		外部評価		
			A+B /全体 (%)	自己評価についての説明及び来年度に向けての改善策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	学校の取組に関する評価と今後の改善点等
組織運営	1	本校は、学校教育目標の具現化に向けて、教育課程の編成、指導計画の作成等を工夫している。	100	○日課変更等について 行事や日頃の授業など、今まで当たり前に学校として行ってきた活動を見直す時期にきている。新型コロナウイルス感染症により、今までの取組に疑問を感じるきっかけとなったことをチャンスととらえ、行事や授業後の反省と改善を随時行い、教育機関である学校のアップデートにつなげる。	A	A	適切に評価されています。 学校自己評価の行事、活動は検討すべき時期にあると思います。しかし、行事の簡素化、削減ばかりでは児童の生活満足度という観点では疑問を感じます。実に難しい課題ですが、よりよい方向へ改善することを望みます。 学級・学年は、児童が毎年変わるので経営案等が同じはありえない。児童の実態を踏まえて検討する。 自己評価にあるように、行事や授業後の反省と改善を随時行い、学校のアップデートにつなげる働きを今後も続けていきたいと思います。
	2	教職員は、PDCAサイクルのもと学級・学年経営や教科指導、校務分掌に工夫・改善しながらあたっている。	95		A	A	
	3	本校は、事故やトラブル等に対してのマニュアルを作成・掲示・活用し、組織的に、かつ迅速に対応している。	100		A	A	
	4	本校は、すべての教育活動を通して、教職員の共通理解のもと、組織的に生徒指導にあたっている。	100		A	A	
基礎学力の徹底	5	児童生徒は、授業中、落ち着いて、学習内容を理解しようとする姿勢が見られる。	91	○授業規律の徹底について 基礎学力の定着のためには授業規律が大切である。授業の約束を年度当初に確認するとともに、学年で授業内容の共通理解や、教材研究における連携をとるようになる。今年度は、教職員の経験年数の差による指導力の差を感じるがあった。授業準備を行う時間の確保を行い、児童に考えさせる授業の実現を目指す。 →学年会の時間の確保を継続し、学年で研修する時間に充てる。授業準備のための十分な時間を確保する。 ○家庭学習の充実について 各学級において課題を出しているが、教育的に効果をえらる取組にする。 →出した課題には評価や指導を行う。	A	A	適切に評価されています。 教職員としては、児童生徒への学習効果は、改善点があることが自身でも気づいている結果になっている。気づいている点をどこまで実行する姿勢があるかだと思われる。 学力の向上は家庭学習と大きく関係している。学校は楽しく・わかりやすく教えている。家庭での取り組みを充実させる。 大切な基礎学力の定着のための取組や、教職員の経験年数の差による指導力の差を埋めていくような取組を大切にしていきたいと思います。
	6	教員は、学力の向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて日々の授業改善に努めている。	95		A	A	
	7	基礎学力の定着や授業規律の徹底など、教職員の共通理解のもと学習指導にあたっている。	95		A	A	
	8	教職員は、児童生徒に家庭学習を定着させるために、家庭に積極的に働きかけるなど工夫している。	95		A	A	
規律ある態度の育成	9	児童生徒は、友達や教職員、来校者に進んであいさつができる。	68	○挨拶について →登校、入室時に担任(教師)が気持ちのよいあいさつや声掛けを続ける。 →新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら有志による教室への挨拶運動を行う。 →気持ちのよいあいさつができればほめる。 ○言葉遣いについて →TPOにあった言葉遣いができるよう、教え続ける。 →家庭や地域にも啓発する。 →あいさつと共に言葉遣いについても年間の重点目標や生活目標に掲げる。 →道徳の授業で取り扱う。	A	A	適切に評価されています。 自己評価に掲げられている内容の改善を望みます。また、落ち着いた環境で授業を受けられるようお願い致します。 現状の認識から、満足できるほどではないと感じられる。全校で取り組んでいく意欲的な働きかけがあった方がよいと思う。 あいさつも全員が同じというわけにもいかない。個人差があり「明るく元気よく」の児童もいれば小さい声でもしっかりと挨拶をする児童もいる。性格上、友達に意見を言える子、なかなか言えない子。その見極めが難しい。 あいさつや言葉遣いは、日々の習慣が大切なので、今後も先生が見本になる態度を見せ続けていってほしいと思います。
	10	児童生徒は、各学年の発達段階に応じた場に応じた正しい言葉遣いができる。	86		A	A	
	11	児童生徒は、お互いのよさや努力等を認め合って学校生活を送っている。	91		A	A	
	12	教職員は、すべての教育活動を通じて、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	100		A	A	
健康・体力	13	児童生徒は、体力の向上に向け、学校生活全般で運動や体づくりに意欲的に取り組んでいる。	77	○運動時間の確保について 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、十分な活動時間が確保できない状況が続いた。 →朝の運動が実施できない状況が続くが、授業時間を工夫して、体力の向上を図る。 ○体力の向上について 体力向上のため、持久走に取り組み学校全体として統一した取組を行った。 →持久力向上の取組として、持久走カードをつくりめあてをもたせる。持久力向上週間を来年度も設定し、目標をもって取り組めるようにする。	A	A	適切に評価されています。 しかし、この項目も新型コロナの影響を感じます。先生方の工夫を感じますので、児童の健康・体力向上のため声掛けの継続をお願いします。 コロナ禍明けに期待したい 体育の授業以外の取組を充実させていることは良いこと。 新型コロナウイルスの影響で、運動時間や環境の確保が難しい中での取組は、大変なことと思いますが、持久走の取組を続けていきたいと思います。
	14	本校は、児童生徒の健康及び安全についての意識を高めようとしている。	91		A	A	

令和4年度北本市立北小学校 自己評価及び学校運営協議会評価書(まとめ)

評価項目	No.	観 点	自己評価		外部評価			
			A+B /全体 (%)	自己評価についての説明及び来年度に向けての改善策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	学校の取組に関する評価と今後の改善点等	
保護者・地域・異校種間連携	15	自校の教職員は、PTA活動や地域活動等に積極的に協力している。	86	OPTA活動について 一部の職員に偏りがみられる現状から、それぞれの担当で少しずつかわるよう、連携をとれる組織づくりを進めていく。 →関係する部の職員と情報共有を行う。	A	A	適切に評価されています。 PTAのあり方についてですが、除草作業等、自己責任参加型ではなかなか協力が得られていないのではと感じました。今後、どのように協力していくか、さらに検討する必要があると感じます。	
	16	自校は、各種たよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報提供している。	100		A	A		偏りのある職場環境になると、職場の空気も悪くなりやすく、年度替わりを機に、公平感ある改善の必要があると思われる。
	17	自校は、保護者や地域と連携し不審者対策のパトロールや声かけ運動などの計画を立てて定期的の実施している。	100		A	A		PTA活動や地域活動は、子ども達のためになるほかに、先生と保護者の距離が縮まる場にもなるので、積極的な協力をお願いしたいと思います。
	18	自校は、異校種間(幼保小、中等)の連携を積極的に推進している。	100		A	A		
学校独自の項目	1	教職員は、道徳授業の充実を図っている。	100	○あいさつについて →縦割り班でのあいさつ自己紹介等の回数を2回以上する。 →通学班のメンバー(名前、クラス)を覚えるためにも、一斉下校の際に時間を設ける。 →毎朝あいさつする習慣をつけさせる。通学班が集まったときにあいさつするように指導する。 →教師からのあいさつ。返さない子は返すまでさせる。繰り返す。あいさつをしないと気持ち悪いと思わせることが大切。 →道徳の授業で指導する。 ○言葉遣いについて →日々の指導を繰り返す。 ○掃除について →コロナやインフルエンザなどで休みがいと終わらないことがある。(急いでやっているが) →反省会をしっかりと行う。 →3~5分前行動で早めに行くようにしている。 ○授業準備・姿勢・声量・返事、言葉遣い等)を行っている。	A	A	適切に評価されています。 改善策を実行されることを望みます。 挨拶の励行する働きかけに対して、児童の挨拶の姿の結果があまり伴っていないと思われます。 教職員自らが挨拶をする姿を見せることから始めることで、児童も日常のその姿をみて学ぶように思われます。 清掃指導は繰り返し繰り返しだと思ふ。引き続きご指導をお願いしたい。 清掃について、トイレが汚いと聞くので、使った後は使用前と同じ状態になるように指導する。それにより掃除の時間に終わらないということも減るのではないかと。 あいさつは、とても大事ですが義務的になってしまうと、自然に出てくるあいさつにはつながらないと思います。 あいさつをすることで、	
	2	教職員は、児童へ明るい挨拶の励行を行っている。	100		A	A		
	3	教職員は、清掃指導の徹底(一人一役、反省会の充実)を行っている。	86		A	A		
	4	教職員は、生徒指導・教育相談体制の充実(組織的な不登校対策)を図っている。	95		A	A		
	5	教職員は、hyper-Q調査を活用し、児童が居場所を感じたり、児童が充実感を味わえる学校づくりを行っている。	100		A	A		
	6	教職員は、スマイル学級児童と通常学級児童の交流学習の充実を図っている。	100		A	A		
学校独自の項目	7	教職員は、学習規律の確立(授業準備、姿勢、声量、返事、言葉遣い等)を行っている。	95	○学習規律の徹底について →ノートのとり方など共通理解を年度当初に行う。 ○あいさつ・返事の仕方について →生徒指導主任から ○ノートや板書の仕方について →各教科主任から ※4月の職員会議で提出、報告 ○授業時間の確保について →次の時間の準備 →20分休み修了の5分前に予鈴をならす。 ○ICTの活用(タブレット研修)について →年度当初に行う。 ○北小タイム →引き続き実施 ○宿題の取り組み方について →やりっぱなしにしない(必ず指導を入れる)	A	A	適切に評価されています。 改善策を実行されることを望みます。	
	8	教職員は、思考力・判断力・表現力を高める指導方法の工夫(深い学びの追求、ICTの活用)を行っている。	100		A	A		
	9	教職員は、「正解」ではなく「自ら考えを」発表し合う授業を行っている。	95		A	A		
	10	教職員は、エビデンスに基づく指導方法の工夫改善を図っている。	95		A	A		
	11	教職員は、学力向上対策としての北小タイムの活用を行っている。	100		A	A		
	12	教職員は、家庭学習に係る取組の充実(「手引き」、「振り返り週間」)を図っている。	100		A	A		

令和4年度北本市立北小学校 自己評価及び学校運営協議会評価書(まとめ)

評価項目	No.	観 点	自己評価		外部評価		
			A+B /全体 (%)	自己評価についての説明及び来年度に向けての改善策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	学校の取組に関する評価と今後の改善点等
学校独自の項目	13	教職員は、運動の特性や魅力を味わわせる授業を行っている。	100	○体力の向上について →授業の中で、(最初に)できる運動の提案(年度初め) 例)鉄棒(斜め懸垂)、のぼり棒、踏み台昇降、トラック(ジョグ、スキップ、ダッシュ、腕立てダッシュ)、サイドステップ、バーピー、カエル倒立、縄跳び 等	A	A	適切に評価されています。 改善策を実行されることを望みます。
	14	教職員は、体力と運動の技能を高める指導と工夫を行っている。	100		A	A	
	15	教職員は、防災意識を高める避難訓練の工夫を行っている。	100		A	A	
	16	教職員は、命を守る自助の力を高める安全教育(閉門扉・一時停止・ハンドサイン)を行っている。	91		A	A	
	17	教職員は、定期、臨時の安全点検の実施を行っている。	100		A	A	
	18	教職員は、「報・連・相」の徹底を行い、本校は、組織で対応する体制の整備を行っている。	100	○教育技術や思いを若手に引き継ぐ体制の整備について【継続】 経験年数の豊富な教員と経験年数が少ない教員の両方がいる現状がある。学校の教育力の向上のため、教職員全員が連携を図り、切磋琢磨しながら、指導力の向上を図る。 →指導力の向上のために教材研究や児童の情報共有のための学年会の時間を計画的に確保し、学年内で実態に即した研修の機会を設ける。 →若手教員がベテラン教員の授業を見る時間の確保、ベテラン教員が若手教員の授業を見る時間の確保を行い、教育技術の継承を図る。	A	A	適切に評価されています。 改善策を実行されることを望みます。
	19	教職員は、互いに尊敬し合う職場づくりを行っている。	100		A	A	
	20	本校は、教育技術や思いを若手に引き継ぐ体制の整備を行っている。	95		A	A	
	21	本校は、学校課題研究に対する組織的な課題解決を行っている。	100		A	A	
	22	本校は、ライフステージに応じた研修の参加機会の設定を行っている。	95		A	A	
23	本校は、「教職員事故0」を継続するための取組をしている。	100	A		A		

令和4年度北本市立北小学校 自己評価及び学校運営協議会評価書(まとめ)

評価項目	No.	観 点	自己評価		外部評価		
			A+B /全体 (%)	自己評価についての説明及び来年度に向けての改善策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	学校の取組に関する評価と今後の改善点等
学校独自の項目	24	本校は、「学校4・3・2制」を基盤とした教育活動の推進を行っている。	100	○幼保小連携については、新型コロナウイルス感染症状況をみながら、できる限りの連携を図った。 →今後、状況を見ながら実施の内容を広げていく。	A	A	コロナ禍が開けることで、近隣の幼稚園保育園との交流を、進めて欲しい。
	25	本校は、学校応援団等による地域の教育力の導入を行っている。	100	○あいさつ・言葉遣いについては課題があり、日々の声かけを大切にしていきたい【継続】 →TPOに応じた判断ができるよう、継続して指導を行っていくと同時に、家庭への啓発を行っていく。	A	A	
	26	本校は、幼保小連携を行っている。	100		A	A	
	27	本校は、PTA執行部との連携を図っている。	100		A	A	
	28	本校は、課題解決に向けた関係機関との連携を図っている。	100		A	A	
	29	教職員は、あいさつ・言葉遣いに関する保護者との連携を図っている。	100		A	A	
来年度の重点目標(共通項目・学校独自項目の評価結果を踏まえて)					学校運営協議会の総評		
<p>【検討会議・学カグループより】 学習規律の徹底→あいさつ・返事の仕方・ノートや板書の仕方 授業時間の確保→次の時間の準備・予鈴の設定 ICTの活用→タブレット研修の実施 北小タイム→引き続き実施 宿題→評価と指導</p> <p>【検討会議・規律ある態度グループより】 あいさつについて→縦割り班でのあいさつ・通学班でのあいさつ・教師からのあいさつ・道徳授業の充実 言葉遣いについて→日々の繰り返しの指導 掃除について→反省会の実施(3～5分前行動で早めに行くように)</p> <p>【検討会議・体カグループより】 授業の中で、(最初に)できる運動の提案(年度初め) 例)鉄棒(斜め懸垂)、のぼり棒、踏み台昇降、トラック(ジョグ、スキップ、ダッシュ、腕立てダッシュ)、サイドステップ、パービー、カエル倒立、縄跳び 等</p>					<p>自己評価は適切です。 次年度は今年度の課題を改善すべく、尽力していただくようお願い致します。</p> <p>挨拶や言葉遣い、学習への働きかけに、改善の余地があると気づいているのではないかとされる。 また、職場の負担感の軽減と公平感を意識した方がよいようです。 仕事内容を吟味し、枝葉の部分は削ぎ、教育の場としての幹を残すことが必要と思われます。 参加できないことが多く、申し訳なく思います。</p> <p>学力、体力、豊かな心が中心となっていると思う。今年度の結果・考察を次年度に活かしてほしい。</p> <p>評価の高い項目はこれからも継続していただき評価の低い項目は、学校、保護者、地域で連携して取り組んでいただければと思います。</p>		
北本市立北小学校 学校運営協議会(敬称略)					外部評価実施日		
会長 磯崎 雅彦 委員 清水 宏典 委員 佐藤 貴広 委員 吉沢 ゆり子 委員 田中 雅之 委員 山本 浩之 委員 若山 清和 委員 西山 宏					第1回 令和4年 5月18日(水) 第2回 令和5年 1月27日(金) 第3回 令和5年 3月 8日(水)		
<p>*「自己評価の適切さ」について A:適切な評価である B:ほぼ適切な評価である C:やや不適切な評価である D:不適切な評価である</p> <p>*「改善に向けた取組の適切さ」について A:十分な効果が期待できる B:ほぼ十分な効果が期待できる C:あまり効果が期待できない D:効果が期待できず改善を要する</p> <p>*学校の取組に関する評価と今後の改善点等について ・評価項目ごとの取組状況に対する評価や今後に向けての要望等を記入する。 ・自己評価書の項目を網羅的に評価するのではなく、「自己評価の高かった(低かった)項目」や「今年度の重点的な取組」に絞って記入する。</p> <p>*その他全体的な留意点 ・外部評価書は1枚にまとめる必要はありません。(2枚以上可) ・共通項目と学校独自の項目を別様に作成してもかまいません。 ・学校独自の評価項目、評価項目数は、各学校で決めてください。 ・学校運営協議会の総評欄は、共通項目、学校独自の項目の両方を踏まえての総評を記入してください。</p>							